

内容がわかるよう簡潔な和文題目 (MS 明朝 14 太文字)

－中心として取り上げた課題を副題目に (MS 明朝 11 太文字)－

佐賀 太郎* ・ 大学 花子** ・ 文教 学*** (MS 明朝 12, 所属上付き)

英文題目 (Century14, 副題目があるときは末尾に「:」付記)

英文副題目 (Century11)

Taro SAGA, Hanako DAIGAKU, and Manabu BUNKYO (Century12)

【要約】和文 200 字以内とする。数字は原則半角とする。欧文単語またはアルファベット小文字は原則半角とする。句読点は「,」「。」を使用する (MS 明朝 10.5)。

【キーワード】単語 5 つまでを「,」で区切る (MS 明朝 10.5)。

原稿の余白は上下左右 20 mmとする。和文の場合、横書き 22 字×40 行×2 段、又は 45 字×40 行×1 段とする。縦書きは 32 字×27 行×2 段、又は 65 字×27 行×1 段とする。

原則「MS 明朝 10.5」を使用する。ゴシックなどの使用活字体は指定する。図や表は本文中に挿入する。「表」とは、授業指導案を含む数字や文字で構成された資料を指し、上に表番号と表タイトルを書く。「図」とはグラフや写真など、数字や文字が主体ではない資料を指し、下に図の番号と図のタイトルを書く (MS 明朝 10.5)。



図 1 ○○○○

表 1 ○○○○

教育実践論文の構成の例

1. 問題提起
 2. 実践目的
 3. 実践内容
 4. 実践結果
 5. 考察
 6. 結論
- 文献

研究論文の構成の例

1. 問題
 2. 目的
 3. 方法
 4. 結果
 5. 考察
 6. 結論
- 文献

実践報告の構成の例

1. 概要
2. 経過 (記録、結果)
3. まとめ